

国際看護研究会第3回学術集会（第18回国際看護研究会）

日時： 2000年9月9日（土） 9:30～17:00

会場： 国際協力事業団青年海外協力隊事務局広尾訓練研修センター
東京都渋谷区広尾4-2-24 TEL：03-3400-7717

学術集会会長：新潟大学医学部保健学科 戸塚規子

学術集会テーマ：国際看護活動の可能性

《プログラム》

9:00～9:30 受付

9:30～9:35 開会

9:35～10:30 基調講演 「国際看護活動の可能性」
大会会長 戸塚 規子（新潟大学医学部保健学科・教授）

第一会場

10:40～11:10 一般演題第一群 「国際看護活動の実践報告」
座長：深澤恵美（愛知県立看護大学）

1. パナマにおける衛生教育活動についての報告
坂元志保子（聖マリアンナ医科大学病院看護部）
2. ボリヴィア国サンタクルス公衆衛生向上プロジェクトに参加して
宮城幸子（沖縄県総合精神保健福祉センター）、福盛久子（沖縄県南部保健所）、山城昌子（沖縄県石川保健所）
3. メキシコ国ベラクルス州における「看護廻診プロジェクト」の協力活動報告
中野真理子（日本医科大学千葉看護専門学校）

11:20 ～ 12:00 一般演題第二群 「母子保健・AIDS」

座長：矢嶋和江（群馬パース看護短期大学）

4. リプロダクティブヘルスに関する意識調査（バングラデシュ）
松沢祐子（東北大学大学院国際文化研究科イスラム圏研究講座 博士前期課程）
5. ネパールの2地域における出産・育児・避妊に関わる現状
澤田みどり（旭川医科大学付属病院）、島田美鈴（広島県立保健福祉大学）
6. カンボジアにおける HIV/AIDS 患者の現状
原澄子（関西医科大学付属病院看護部）
7. タイ山岳民族の子どもたち～「希望の家」からの報告～
清水範子（金沢大学医学部保健学科看護学専攻）

12:00 ～ 13:00 昼食

13:00 ～ 13:30 平成13年度国際看護研究会総会

13:40 ～ 14:30 一般演題第三群 「国際看護・活動への関心」

座長：戸塚規子（新潟大学医学部保健学科）

8. 看護学生の国際看護活動への関心
田中博子（神奈川県立衛生短期大学）
9. 進学コース看護学生の海外看護活動への関心と阻害因子
伊藤尚子（湘南看護専門学校）
10. 『地域看護と国際化』の学習における JOCV 看護職隊員活動報告の効果
—感想レポートの分析結果から見た看護学生の学び—
横川裕美子（広島国際大学保健医療学部）
11. 海外体験の有無による開発途上国イメージの違い
矢嶋和江（群馬パース看護短期大学）
12. 看護職の国際看護学に関する意識調査
～呉、広島地域の病院勤務の看護職の場合～
平岡敬子、岩本由美、信岡利枝、鈴木琴子（呉大学看護学部）

14:40 ～ 15:20 一般演題第四群 「海外の看護・看護教育」

座長：田中博子（神奈川県立衛生短期大学）

13. ベトナムの看護事情
ラー・ティ・トゥ・トゥイ（神奈川県立平塚看護専門学校2年）
14. 我が国のウズベキスタン共和国看護分野における援助スキームの検討
—財団法人国際看護交流協会看護教育協力事前調査から—
高田恵子（国際医療福祉大学保健学部看護学科学士課程）、
半田幸代（財団法人国際看護交流協会）
15. ウズベキスタンの看護教育制度
柳澤理子（三重県立看護大学）
16. ニカラグアの看護教育制度
森 淑江（群馬大学医学部保健学科）

第二会場

10:40 ～ 11:10 一般演題第五群 「国際協力と人材」

座長：森 淑江（群馬大学医学部保健学科）

17. 沖縄県在住看護職者の国際看護活動
仲里幸子、玉城清子（沖縄県立看護大学）
18. 海外で活動するボランティアの異文化ストレスに関する研究
畔柳良江（長野県看護大学 大学院生）
19. 看護職による国際協力活動の還元に関する研究—先行研究の動向—
戸塚規子（新潟大学医学部保健学科）、森淑江（群馬大学医学部保健学科）、
横川裕美子（広島国際大学保健医療学部）、
浅野美智留（九州看護福祉大学看護福祉学科）

11:20 ～ 12:00 一般演題第六群 「先進地域での看護」

座長：伊藤尚子（湘南看護専門学校）

20. ミシガン州立大学（MSU）における看護教育システムの紹介
—学生の視点での考察—
市川智加（山口県立大学看護学部学士課程）

21. アメリカで見学したヘルスサービスの現状及び看護者の役割
—Michigan 州 Lansing, Texas 州 El-Paso, Massachusetts 州 Boston での見学
を通して—
河野美知枝、入江由起、吉川真由美、新谷藍子(山口県立大学看護学部学士
課程)
22. アメリカにおける看護婦の臨床実践能力評価と継続教育の現状
中野康子(山口県立大学看護学部学士課程)
23. 「異文化の地での急性期看護を受けた体験」について
茂木泰子 (太田看護専門学校)

12:00 ~ 13:00 昼食

13:40 ~ 14:00 一般演題第七群 「在日外国人の保健医療」

座長：柳澤理子 (三重県立看護大学)

24. “手術を必要とした外国人事例に関する一考察”
松田安代 (聖母会聖母病院手術室)、亀田玲子 (聖母女子短期大学看護科)
25. 留学生の保健行動に関する調査 そのⅡ—健康問題解決の過程—
中尾理恵子、坂梨恵美、武田幸子、中村由梨子、古田望美、丸橋由香 (長
崎大学医療技術短期大学部)、森淑江 (群馬大学医学部保健学科)

14:00 ~ 14:20 一般演題第八群 「紛争地域の保健」

座長：柳澤 理子 (三重県立看護大学)

26. 救援活動で生かされた MPHМ の知識と体験の検討
近藤麻里 (高知医科大学看護学科)
27. Assessment of Health Services in Bosnia-Herzegovina and the Republika
Srpska
Marcia A. Petrini Ph.D. (Yamaguchi Prefectural University)

15:20 ~ 15:25 閉会 第一会場

15:30 ~ 17:00 茶話会 第一会場